

かがやく チカラ

錦津地区で活躍する
「きらりの会」の活動を
ご紹介します！



6月2日(金)、錦津コミュニティセンターで毎月開催されている「きらりカフェ」と、新鮮な地元野菜などを販売する「きらり青空市」が2周年を迎えました。

午前8時「きらり青空市」が始まります。錦津コミュニティセンターの軒先には、地元の方が丹精込めてつくった、つやつやでみずみずしい朝どれの野菜などが所狭しと並んでいます。ほとんどの商品が100円と、とてもお買い得です。

たくさんのお客さまが訪れ、大変な賑わいです。ちょうど保育園の登園時間と重なるので、若いお母さんたちの姿も見られました。

「地元の野菜を、地元の子どもたちに食べてもらいたい。できるだけ安く、良いものを出している」と出店者の方が話してくれました。



青空市は大変好評で、中にはすぐに売り切れてしまうものもあります。できるだけ早い時間に訪れるのがおすすめのことです。

その後9時からは、「きらりカフェ」が始まります。

「きらりカフェ」は、地元・錦津地区の有志による「きらりの会」のみなさんが、企画から運営、後片付けまでを自主的に運営するサロンカフェです。講話や音楽を聞きながら、地域の方が交流を深める場として、すっきり定着しています。



テーブルの上がパッと華やぐ装花。「きらりの会」のメンバーが自宅の庭で摘んだものを持ち寄って、みんなで生けています。お金をかけずに手間かけて、心をかけているそう。



2周年記念の「きらりカフェ」当日は、おいしいコーヒーをいただきながら、善慧寺の住職・今井随祐さんの講話を聞きました。会場からは、笑い声があふれ、あつという間の楽しい時間でした。

参加するスタッフの一人は、「自分たちがやりたいから、やっているの。お客さんが喜んで、帰り際にありがとうと声をかけてくれることが、生きがいになっている。仲間と一緒にもう一回青春を送らせて！」と話してくれました。

「きらりカフェ」は、2年間毎回違ったアトラクションで、お客さまをおもてなししてきました。これからどんな企画で私たちを楽しませてくれるのでしょうか。ぜひ「きらりカフェ」に足を運んでください。

